

学校訪問シリーズ 68

大分市立上戸次小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

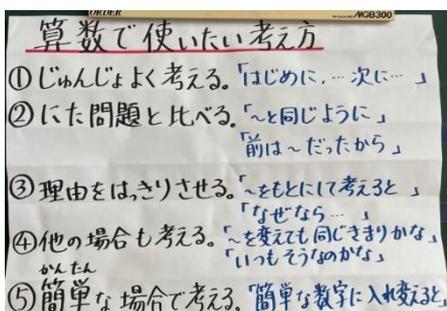
本校は、小規模特認校のミッションである地域の自然や人との関わりを生かした特色ある学校づくりを基本方針として、学校の教育目標「主体的に生きる力を身につけ、夢をえがく子どもの育成」を達成するため、「伝統芸能ふれあい教室」や「体力アップわくわく事業体づくり運動」等様々な活動に積極的に応募したり、また、田植えや本校の伝統行事である相撲大会等の学校行事においても外部人材を多く活用しています。

41人の児童を全職員が学級担任という意識をもちながら地域と共に実践する本校の在り方は、小規模校における学校経営に大いに参考になると思われました。

授業から学ぶ

一人一人の子ども達に対して、きめ細やかな授業が行われており、本時のねらいも3文で明確に示していました。

今後は、①追究対象（～を、～について）は、子ども達が追究したいくなるような具体的な内容とし、黒板に示す課題を「～できるようにしよう」等、より具体的なものにするにより明確になると思いました。



また、学び合いも積極的に取り入れ、子ども達の学びも深まっているように思いました。そのような学び合いを行う際の教師の立ち位置については、より俯瞰的に見ることで、それぞれの学び合いの様子を評価し、次への活動に活かされるとよいと感じました。



NO.398 2022年11月 大分市立上戸次小学校

やる気の拳手

腕が伸びる。指先まで集中する。自然に顔が上がり、背筋も伸びている。やる気が伝わる!



NO.396 2022年11月 大分市立上戸次小学校

ふりかえり

困ったときは、前時までに学んだ事をふりかえる。前時までの形にすれば、この問題は解けそうだ。



NO.397 2022年11月 大分市立上戸次小学校

説明力

聴いてくれる友達がいるから、自分の思いを堂々と言うことができる。



NO.394 2022年11月 大分市立上戸次小学校

辞書を比べる

同じ言葉でも、辞書によって表記は異なる。それぞれの表し方を知ると、学びが深くなる。



NO.395 2022年11月 大分市立上戸次小学校

表現する

同じお話しても、表現の仕方は一人一人異なる。その人の「らしさ」が表れる。